

『すまいる通信』配信のお知らせ

毎月20日に
配信します

『すまいる通信』は、あらかじめご登録いただいた方にパソコンや携帯電話などのメールを利用して、支援に役立つ情報やイベントをお知らせするサービスです。ぜひご利用ください。

(情報利用料は無料。ただし通信料は自己負担となります)

新規登録、登録内容の変更・登録の解除

下記のアドレスまたは右のQRコードより
案内に従い、空メールを送信してください。

▶ <http://www.setagaya-mail.jp/top.html>



〈配信元・問合せ先〉

世田谷区障害福祉担当部 障害者地域生活課 TEL 03-5432-2227 FAX 03-5432-3021

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
相談・療育をご希望される場合は、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236(相談専用)

〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター2・3階
TEL 03-5727-2235(代表)
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

業務受託：社会福祉法人 トボスの会

〒123-0844 足立区興野2-18-12
TEL 03-5837-4830 FAX 03-3890-8121

今後の予定

保護者向け発達障害講座

- 7/25、8/22、9/26(火) @鳥山区民センター
- 8/9、9/13、10/18(水) @成城ホール

10月に「げんき」、12月には梅丘でも開催を予定しております。

※今年度は地域ごとに同一内容の講座を開催しています。
玉川地域での開催は終了し、ご好評をいただきました。

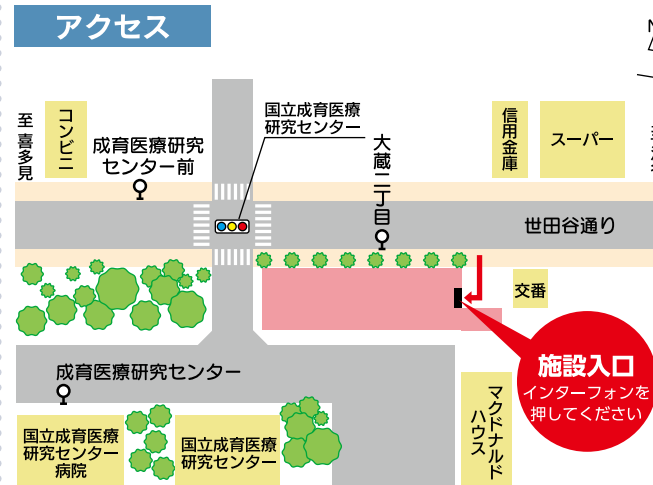
講演会

- 8/24(木) 『発達障害と愛着障害』

講師：杉山登志郎氏(福井大学子どものこころの発達研究センター客員教授)

※各催し物の詳細は、区のお知らせ「せたがや」にてお知らせします。

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

〔渋24〕 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

〔都立01〕 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口

〔等12〕 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

〔用06〕 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

小田急バス

〔渋26〕 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

東急コーチ

〔玉31・32〕

二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

Gpress せたがや

第30号
2017
7月発行

「ジープレスせたがや」
<http://www.ryo-iku.jp>
GpressのGは愛称「げんき」のGです。

子どものミカタ・発達のミカタ

子どもたちは、「人と関わりたい」「こんな活動をしたい」といった
さまざまな思いを持っています。

私たちはその気持ちを育むために、このようなことをめざして関わっています。



成功体験を
しっかり積む



失敗しても
再チャレンジ
する力をつける



失敗に
寄り添ってくれる
人がいる



困ったときに
助言をもらえる
人がいる



安心できる人が
そばにいる



楽しめる活動を
増やす

「げんき」では、相談・療育に加え、地域支援や保護者支援などを通じて、周囲の人々が子どもの味方となれるよう子どもの見方・発達の見方を学ぶ機会を作っています。

中面では、誰もが悩む思春期について、「発達障害のある方の日常～思春期編～」を掲載しています。

「げんき」では、発達障害に関する全般的なご相談をお受けしています。

まずはお電話ください

03-5727-2236 (「げんき」相談専用番号)

発達障害のある方の日常

思 春 期 編

発達障害は見た目ではわかりにくい障害といわれています。周囲の人が本人の困っているポイントを知ること、お互いに暮らしやすい社会につながります。今回は自閉スペクトラム症のAさんに学生時代をふりかえっていただきました。

学校生活では…

どうすればいいの…



クラスの係活動や、文化祭の準備などで、どうしていいかわからなくなり、指示を待っていると、「協力しない」「やる気がない」などと叱られてしまいました。慌てて何かを始めると今度は「優先順位を考えて」と言われてしまいました。また、しっかりと完成させようとする、「時間がかかり過ぎ」「そんなにこだわらなくていい」とも言われたりもしました。「何を、どのように、どこまで」やったらいいのか、いつも困っていました。

しっかりとやる内容や手順を教えてくれる先生や同級生がいて、とても助かりました。

日常生活では…

本日発売



よし
買おう！

お気に入りのアニメのグッズが発売されるとしても立ってもいられず、つい買ってしまい、母親によく叱られていました。かなり高額なグッズを買う際には、勝手に貯金を下ろしてしまい、家族全員からこっぴどく叱られました。今でも欲しいものがあると、つい買ってしまっているので、自分でも困っています。

カウンセラーの先生が、お小遣帳などを定期的に確認しながら、適切な助言をしてくれています。これからもそんな助言をくれる人がいるといいなと思っています。

友人関係では…

おこってる!?



自分ではそんなつもりはないのに、相手を怒らせてしまうことがたびたびありました。それもあってか相手の感情には敏感になってしまい、いつも顔をうかがうようになりました。対人関係が苦しくなることが日常的でした。

幼なじみのBくんだけは、ぼくに悪気がないことを理解してくれていた、安心してつき合うことができました。

思春期は、心理学者スタンレー・ホールが「疾風怒濤の時代」と表現したように、多くの変化や成長に混乱しやすい時期といえます。また、いじめなどの問題や繰り返しの失敗体験などで、自我への否定的な思いが定着してしまうこともあります。

発達障害のある方は周囲との違いを感じ、困難さを感じやすい時期です。肯定的な世界観を育めるように、困ったときは周囲に相談できたり、気軽に助言をしてもらえる環境を作ることが大切です。保護者のほか、スクールカウンセラーや、利用施設の担当者、ピア（同じような境遇の仲間）での活動ができる施設とつながっておくことも方法の一つです。

苦手を克服しようとしてのやみくもな努力は、過度な疲労につながりやすくおすすめできません。得意不得意などの自分の特性を知り、それにあった工夫をすることが大切です。例えば、集団の中で適切な行動が難しい場合は、「～のときは…する」と場に適した行動を知識として覚えることで適応できることがあります。

本人やご家族が暮らしにくさを感じたときや適切な工夫が見つけにくいときは専門機関にご相談ください。



Aさん

